



復元建物展示

行在所になった 府中の大店

7/22 (土) ~ 2024/3/3 (日)

府中市郷土の森博物館

〒183-0026 東京都府中市南町 6-32

TEL 042-368-7921

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

会場 園内 旧田中家住宅

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入場は 16:00 まで)

入場料 大人 300 円 中学生以下 150 円
4 歳未満無料 (博物館入場料として)

主催 府中市郷土の森博物館運営グループ
(公益財団法人府中文化振興財団・
株式会社五藤光学研究所)



明治時代になると、明治天皇自ら日本各地へ視察に赴くようになります。その際に天皇が宿泊したり昼食をとったりした場所を^{あんざいしょ}行在所といひ、多くは地域の^{めいぼうか}名望家の住居があてられました。行在所は明治天皇の^{せいせき}聖蹟となり、昭和初期にはその一部が国の文化財として^{しせき}史蹟に指定されるも、戦後すぐに解除されたという歴史があります。

当館園内に移築・復元された旧田中家住宅も明治天皇と関わりを持つ建物です。元は旧甲州街道沿い^{こうしゅうかいどうぞ}にあり、村役人もつとめた大きな商家で、広い^{ざしき}座敷や調理場、^{かわらぶ}瓦葺きの^{おもてもん}表門、^{しきだい}式台のある^{げんかん}玄関も^{そな}設えていました。そうしたことから、明治天皇が府中近辺を訪れた際は当家が行在所とされ、一時は国の文化財になりました。

戦後に文化財指定が解除されると、図書室や会議所として活用されます。しかし、1960年代初頭に建物の老朽化等から明治天皇が泊まった部屋^{ござしょ}(御座所)だけが残されました。その後、旧甲州街道沿いにあった商家、明治天皇の行在所といった歴史的価値から当館へ移築・復元する建物の候補になります。明治時代の図面や写真等を元に移築・復元されたのは1989年(平成元)のことです。

本展示会は旧田中家住宅を会場に、田中家の来歴と明治天皇との関わり、当館への移築・復元までについてご紹介します。



1935年(昭和10)建立の史蹟石柱



1942年(昭和17)の絵葉書(式台玄関)



1942年(昭和17)の絵葉書(御座所)

府中市郷土の森博物館

〒183-0026 東京都府中市南町 6-32 TEL 042-368-7921
<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

交通アクセス ※ご来場の際は、電車・バスをご利用ください

路線バス

- 京王線・JR南武線「分倍河原駅」南側ロータリーから「郷土の森総合体育館」行きバス約6分「郷土の森正門前」下車すぐ

府中コミュニティバス(ちゅうバス)

- 京王線・JR南武線「分倍河原駅」または京王線「府中駅」から南町・四谷循環バス「つよや苑西」行き「南町二丁目」下車 徒歩約6分
- 京王線「中河原駅」から南町・四谷循環バス「府中駅」行き「芝間稻荷神社」下車徒歩約6分

徒歩

- 京王線・JR南武線「分倍河原駅」より約20分
- JR武蔵野線・南武線「府中本町駅」より約20分
- 西武多摩川線「是政駅」より約20分

